後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	2	学び合い、志を育むまちづくり	担当部	教育委員会
基本施策	1	「志」の教育　信頼される学校教育の確立		
単位施策名称	2	学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		
施策の方向性	●開かれた学校・信頼される学校を目指して、学校・家庭・地域の協働により「コミュニティ・スクール」の活性化を図り、学校も地域も子どもも元気になる「地域とともにある学校」を目指します。 ●学校現場の業務改善及び教職員の資質向上を推進するとともに、教育委員会と学校が連携・協力・情報共有を緊密に行う体制を確立し、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備に取り組みます。また、外部人材との連携を推進するとともに、教諭以外の多様な職員が専門性を発揮して、子ども達を指導・支援する「チーム学校」に取り組みます。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合（小学校）	%	目標値		89.2	89.4	89.6	89.8	90.0
			実績値	85.8	90.4	87.2	84.9	86.0	87.9
			達成状況		達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2	「子どもと向き合う時間が確保されている」と感じる教員の割合（中学校）	%	目標値		89.2	89.4	89.6	89.8	90.0
			実績値	83.3	90.3	75.0	61.8	77.8	72.2
			達成状況		達成	未達成	未達成	未達成	未達成
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	小学校・中学校とも目標を達成しました。 本格的に活用を始めた校務支援システム等により教職員の負担軽減を行うとともに、各学校内で熟議を行い業務改善を図りました。
R4	小学校・中学校とも目標を達成できませんでした。 令和3年度に比べ学校活動が少しづつ戻る状況の中、町内小中学校教頭（業務改善推進担当者）会で熟議を行い業務改善に努めるとともに、校務支援システムの活用やスクールカウンセラー等を配置し教職員の負担軽減に努めました。
R5	小学校・中学校ともに目標値未達成となりました。 教員の体感に係る指標であるため、客観的妥当性という色合いは濃くありませんが、小学校・中学校ともに令和３年度以降低下し続けている事実は、留意すべき事態と考えます。
R6	小学校・中学校ともに目標値未達成となりましたが、前年度より向上しました。 部活動指導員等の様々な外部人材の配置や、各学校における教職員のモチベーションを高めるためのＰＤＣＡサイクルの取組などが、前年度よりも向上した要因と捉えています。
R7	小学校・中学校ともに目標値未達成となりましたが、小学校では前年度より向上しました。 スクールサポートスタッフ、地域学校協働活動推進員、部活動指導員等の様々な外部人材の配置や、町主催の求人説明会の開催、各学校における教職員のモチベーションを高めるためのＰＤＣＡサイクルの取組などが、好要因と捉えています。ただ、中学校においては前年度より低下しており、部活動の顧問等に、依然として多忙感があることが要因と捉えています。

・評価及び対応方針

R3	
R4	今後も、継続的に業務改善を行い、子どもと向き合う時間の確保に努めます。
R5	目標値は未達成ですが、事務事業は2事業ともに目標値を達成しています。 事務事業において、地域が学校に関わる取り組みを推進していることから、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校支援体制は構築できているものと考えます。
R6	今後も、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との協働を推進するとともに、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備を進めます。
R7	多忙感により児童生徒とじっくり向き合える時間が不足していると捉えている教職員も見られることから、策定した業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき、教職員のモチベーション向上に向けた取組とともに時間外在校等時間の縮減に向けた具体的な取組を進めていきます。 特に中学校の部活動については、地域展開に向け計画的に取組むとともに、展開までの間の教職員の負担軽減に努めます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	コミュニティ・スクール運営事業	286	701	812	806	691	3,296
2	地域学校協働活動推進事業	601	687	593	595	599	3,075
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		887	1,388	1,405	1,401	1,290	6,371

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	コミュニティ・スクール運営事業	事業番号	212101
担当部署名	教育委員会　　学校教育課		
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1 「志」の教育　信頼される学校教育の確立		
単位施策	2 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 町内7校において、設置した学校運営協議会を中心に、地域と学校が連携・協働した学校運営の充実を図りました。
R4	○ 町内7校において、設置した学校運営協議会を中心に、地域と学校が連携・協働した学校運営の充実を図りました。
R5	○ 町内7校において、設置した学校運営協議会を中心に、地域と学校が連携・協働した学校運営の充実を図りました。 ○ 年間3回実施される県主催の地域学校協働活動コーディネーター養成講座に各校から学校運営協議会委員が参加し、各校における地域学校協働活動と学校運営協議会の一体化に向けての体制づくりを図りました。
R6	○ 町内7校において、設置した学校運営協議会を中心に、地域と学校が連携・協働した学校運営の充実を図りました。 ○ 年間3回実施される県主催の地域学校協働活動コーディネーター養成講座に各校から学校運営協議会委員が参加し、各校における地域学校協働活動と学校運営協議会の一体化に向けての体制づくりを図りました。
R7	○ 町内7校において、設置した学校運営協議会を中心に、地域と学校が連携・協働した学校運営の充実を図りました。また、各校の活用事例、地域人材などを収集し広く展開するために、地域学校協働活動推進員を配置しました。 ○ 年間3回実施される県主催の地域学校協働活動コーディネーター養成講座に各校から学校運営協議会委員が参加し、各校における地域学校協働活動と学校運営協議会の一体化に向けての体制づくりを図りました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	「学校の教育を信頼（満足）している」と答える保護者の割合	%	目標値	93.2	93.3	93.4	93.5	93.6
			実績値	92.1	92.7	93.6	91.7	94.0
			達成状況	未達成	未達成	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	地域の力を学校教育に生かすことを目的としているため、学校の教育を信頼（満足）していると答える保護者の割合を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	286	0	0	0	0	286
R4	701	0	0	0	0	701
R5	812	0	0	0	0	812
R6	806	0	0	0	0	806
R7	691	0	0	0	0	691
合計	3,296	0	0	0	0	3,296

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標は未達成でしたが、町内すべての学校の教育が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。
R4	事業目標は未達成でしたが、学校運営協議会において、各校が目指す学校像を明確に示し、取組みについては共有できるようにする等、町内すべての学校の教育が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。今後は、社会教育課と連携しコミュニティスクールに係る協議会を実施する等、学校、地域、保護者が一体となる取組みを推進します。
R5	事業目標は達成しました。学校運営協議会において、各校が目指す学校像を明確に示し、取組みについては共有できるようにする等、町内すべての学校の教育が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。また、県主催の地域学校協働活動コーディネーター養成講座への参加を促すとともに、社会教育課と連携しコミュニティスクールに係る協議会を実施する等、学校、地域、保護者が一体となる取組みを推進しました。
R6	事業目標は未達成でしたが、学校運営協議会において、各校が目指す学校像を明確に示し、取組みについては共有できるようにする等、町内すべての学校の教育が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。今後は、社会教育課と連携しコミュニティスクールに係る協議会を実施する等、学校、地域、保護者が一体となる取組みを推進します。
R7	事業目標は達成しました。学校運営協議会において、各校が目指す学校像を明確に示し、取組みについては共有できるようにする等、町内すべての学校の教育が信頼され、児童生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。社会教育課と連携しコミュニティスクールに係る協議会を実施する等、学校、地域、保護者が一体となる取組みが好要因と考えます。

・評価及び対応方針

R3	今後も、学校教育が信頼される学校づくりを推進します。
R4	今後も、学校教育が信頼される学校づくりを推進します。
R5	今後も、学校教育が信頼される学校づくりを推進します。
R6	今後も、学校教育が信頼される学校づくりを推進します。
R7	今後も、幅広い層の地域住民の参画を得て、学校・家庭・地域が連携・協働した学校づくりを推進します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標は未達成でした。 各校で実践されている学校・地域・保護者の取組みについて、更なる情報共有が必要と考えます。
R4	事業目標は未達成となりました。 各校で実践されている学校・地域・保護者の取組みについて、更なる情報共有が必要と考えます。
R5	実績値が令和3年度以降次第に上昇する中で、3年目で目標値を達成しました。 実施してきた活動が徐々に浸透し、認識され、実を結んだ結果であると考えます。
R6	事業目標は未達成となりました。 各校で実践されている学校・地域・保護者の取組みについて、更なる情報共有が必要と考えます。
R7	事業目標は達成となりました。 地域学校協働活動推進員の配置や、各学校や地域の実態に応じた地域学校協働活動が実施され、コミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりの推進と研究成果の発信が認められ文部科学大臣優秀教職員表彰を受けるなど、学校と地域の協働は活性化してきていると考えます。

・評価及び対応方針

R3	今後も、地域から信頼され、地域とともにある学校づくりを推進します。
R4	今後も、地域から信頼され、地域とともにある学校づくりを推進します。
R5	学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進という施策を具現化する取組みとして、本事業を継続していく必要を感じます。
R6	今後も、地域から信頼され、地域とともにある学校づくりを推進します。
R7	今後も、学校・家庭・地域が連携・協働した学校づくりを推進します。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	地域学校協働活動推進事業	事業番号	212102
担当部署名	教育委員会　　社会教育課		
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1 「志」の教育　信頼される学校教育の確立		
単位施策	2 学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、学校支援活動を実施しました。
R4	○ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、学校支援活動を実施しました。（小中学校7校×3事業） ・学習のサポート（図書の読み聞かせ、授業の補助など） ・環境のサポート（花壇の整理、校内の清掃、図書の整理など） ・安心安全のサポート（登下校の見守り、校外学習の引率支援など）
R5	○ 各小中学校全校において、3事業の学校支援活動を実施しました。 ・学習のサポート（図書の読み聞かせ、授業の補助など） ・環境のサポート（花壇の整理、校内の清掃、図書の整理など） ・安心安全のサポート（登下校の見守り、校外学習の引率支援など）
R6	○ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、学校支援活動を実施しました。（小中学校7校×3事業） ・学習のサポート（図書の読み聞かせ、授業の補助など） ・環境のサポート（花壇の整理、校内の清掃、図書の整理など） ・安心安全のサポート（登下校の見守り、校外学習の引率支援など）
R7	○ 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、学校支援活動を実施しました。（小中学校7校×3事業） ・学習のサポート（図書の読み聞かせ、授業の補助など） ・環境のサポート（花壇の整理、校内の清掃、図書の整理など） ・安心安全のサポート（登下校の見守り、校外学習の引率支援など）

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	活動事業数	回	目標値	21	21	21	21	21
			実績値	21	21	21	21	21
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	地域と学校が連携・協働することが目的のため、活動事業数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	601	0	400	0	0	201
R4	687	0	396	0	0	291
R5	593	0	284	0	0	309
R6	595	0	396	0	0	199
R7	599	0	397	0	0	202
合計	3,075	0	1,873	0	0	1,202

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	地域全体で子供たちの成長を支えるため、地域と学校が連携・協働し活動するための会議や支援活動を小・中学校で実施し、目標を達成しました。
R4	地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、目標を達成しました。
R5	地域の活動者と学校が相互にパートナーとして連携・協働した学校支援活動を行い、目標を達成しました。
R6	地域の活動者と学校が相互にパートナーとして連携・協働した学校支援活動を行い、目標を達成しました。
R7	地域の活動者と学校が相互にパートナーとして連携・協働した学校支援活動を行い、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	各学校の地域学校協働活動で地域との連携がより良く行えるよう支援していきます。
R4	引き続き、各学校の地域学校協働活動において、地域との連携がより良く行えるよう、研修・交流会の開催を行い、活動を支援していきます。
R5	引き続き、各学校の地域学校協働活動において、地域との連携がより良く行えるよう、研修・交流会の開催を行い、活動を支援していきます。
R6	引き続き、各学校の地域学校協働活動において、地域との連携がより良く行えるよう、研修・交流会の開催を行い、活動を支援していきます。
R7	引き続き、各学校の地域学校協働活動において、地域との連携がより良く行えるよう、研修・交流会の開催を行い、活動を支援していきます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事業目標は達成しました。 引き続き、学校支援活動を実施していきます。
R4	事業目標は達成しました。 各学校にて、継続して学校支援活動を実施しました。
R5	目標値を達成することで、学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進を図ることができました。
R6	事業目標は達成しました。 各学校にて、継続して学校支援活動を実施しました。
R7	事業目標は達成しました。 引き続き、学校支援活動を実施していきます。

・評価及び対応方針

R3	今後も、地域と学校が連携し学校支援が行えるよう支援していきます。
R4	今後も、地域と学校が連携し学校支援が行えるよう支援していきます。
R5	まさしく「チーム学校」を体現した事業であり、継続して取り組みます。
R6	今後も、地域と学校が連携し学校支援が行えるよう支援していきます。
R7	今後も、地域と学校が連携し学校支援が行えるよう支援していきます。